

大阪・関西万博 「週報」のお届け

日頃、お世話になっております。

大阪・関西万博については、いろいろな報道やご指摘をいただいております。

なるべく客観的な事実関係を中心に別添の通りまとめ、週一回を目処に定期的にお届けしております。合わせて、準備活動の現状や今後の予定なども簡潔に記載させていただいております。

お時間ありましたら、より詳細なご説明に伺いたいと存じます。

経済産業省 首席国際博覧会統括調整官 茂木 正

(お問い合わせ先) 経済産業省 博覧会推進室 担当： 参事官 奥田 修司
総括補佐 阿部 尚行
直通： 03-3501-0289

今週の大阪・関西万博 **週報** (10/22～10/28)

～ 開催まであと**166**日です! ～



1. 参加国の状況

□ 10/22(火)、アフリカ4ヶ国(アルジェリア、アンゴラ、ガボン、チュニジア)が、博覧会国際事務局 (BIE)のホームページで、それぞれのパビリオン外観や展示内容を発表。

- ・ アルジェリア: 「いのちを救う」に結びつく SDGs の取組
- ・ アンゴラ: コミュニティ内の「生活の質」向上に伴う教育水準の向上
- ・ ガボン: 「気候変動対策」「生物多様性」「資源の有効利用に」関連した体験を提供
- ・ チュニジア: カルタゴに至る歴史や、国際協力を発展させてきた科学者・医療者などを紹介



(アルジェリア館 外観)



(チュニジア館 外観)



【出典】 BIE ホームページ:

<https://www.bie-paris.org/site/fr/grand-angle/entry/visions-partagees-pour-lexpo-2025-osaka-kansai>

□ 10/24(木)、チリ(=いわゆる「タイプB」での建設)は、博覧会協会から同国パビリオンの引渡しを受けた。今後、内外装、展示工事を随時進めていく段取り。同パビリオンでは、チリの文化を紹介するとともに、世界共通課題の解決に向けた同国の取組を紹介。



【出典】チリパビリオンインスタグラム: <https://www.instagram.com/expo2025chile/>



- 10/28(月)、ハンガリーは、建設中のパビリオンの詳細を公表。1階は「展示エリア」、2階に「レストラン」と「ワインバー」を配置。3階は「ビジネスエリア」で、ハンガリー企業のビジネス機会拡大に活用。干し草の山をイメージした大型ドームでは、民族音楽の生演奏を体験できる予定。



【出典】ハンガリーパビリオンHP: <https://expo2025.hu/ja/>

【現在の参加国等の状況】 (10月24日現在)

- ・ 161 各国・9 国際機関が参加表明済み。
 - うち、公式参加契約締結国数：133 各国・6 国際機関

- うち、未着工の国： 1 各国
- 建設事業者未決定の国： 1 各国

2. 今週・先週の主な活動

- 10/22(火)～25(金)、B I Eのケルケンツェス事務局長が来日。10/24(木)に万博会場を視察後、吉村大阪府知事・横山大阪市長と面談。10/25(金)には、参加国代表との運営委員会に出席。同日の記者会見では、「美しい会場が4月13日に開幕すると確信」「万博開催時には世界の企業が大阪を目指してやってくる」などと期待を述べた。



共同記者会見で取材を受けるケルケンツェス事務局長と石毛事務総長(経済産業省職員撮影)

- 10/23(水)、大阪ヘルスケアパビリオンは、関係者およびメディアに向けたパビリオンの引渡しセレモニー・内覧会・点灯式を夢洲にて開催。行政や協会の関係者に加え、フットボールアワー岩尾さん・後藤さん、福本愛菜さん、ミyakumiyakuからも登場。



【出典】大阪ヘルスケアパビリオン HP: <https://2025osaka-pavilion.jp/20241023-2/>

□ 10/25(金)から11/15(金)まで、三菱UFJフィナンシャル・グループは、大阪市内の本社ビル1Fスペースにて、機運醸成イベント「MUFG『推しパビ』プロジェクト」を開催。70年万博での三菱未来館等の出展を振り返りながら、2025大阪・関西万博での「三菱未来館」の内容も映像やパネルで紹介。

なお、10/28(月)、29(火)の両日には、同会場にてEXPO2025 デジタル・ウォレットサービスと連携したサイドイベントも開催。

【出典】

・博覧会協会 HP<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241025-06/>

・MUIC HP<https://www.muic-kansai.jp/event/20241017.html>



□ 10/25(金)、内閣官房 国際博覧会推進本部事務局は日本各地の自治体と外国の人的交流を促進するための「万博国際交流プログラム」について、8件を追加認定。
(累計 133件(87自治体(15府県72市町村)が登録済み))。

※ 新たに登録された自治体(対象国)は、以下の6つ。

岩手県岩手町(アイルランド)、三重県(ブラジル)、福岡県福岡市(アラブ首長国連邦、カタール、サウジアラビア)、佐賀県(オランダ)、大分県(英国)、沖縄県宜野座村(カメルーン)

【出典】内閣官房 HP:

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/topics/pdf/08_touroku.pdf



<今後の予定>

- 11/1(金)から来年10月まで、比叡山鉄道は、大阪・関西万博のオリジナルヘッドマークを掲示したケーブルカー(全2両)を運行。



1号車「緑号」掲出のヘッドマーク

ヘッドマーク掲出イメージ

2号車「福号」掲出のヘッドマーク

【出典】博覧会協会 HP: <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241022-01/>



- 11/1(金)～万博終了まで、JR西日本は岡山エリアで車両ラッピングを実施予定。
(運行線区: 山陽本線(東岡山～三原)、赤穂線(播州赤穂～東岡山)、伯備線(倉敷～新見))



【出典】博覧会協会 HP: <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241025-01/>



- 11/3(日)@早稲田大学 西早稲田キャンパス(東京)
万博教室 in 早稲田大学 理工展
- 11/5(火)@青山学院大学 青山キャンパス(東京)
万博教室 in 青山学院大学 “Dialogue Series: Expo 2025 – Empowering Youth”

3. チケット販売の状況

- ◇ チケット販売枚数 : 727万1,710枚 (2024年10月23日現在)

4. 主要な指摘事項と事実関係

(1)

指摘事項

- 教育旅行の会場下見について、会場下見はいつ実施できるのか。また、会場下見のあとにキャンセルになった場合にキャンセル代を徴収するのはおかしいのではないか。

【事実関係】

- 学校関係者からの要望が強い教育旅行の下見については、会場内工事が開幕直前まで続くことになるため、開幕前の期間に実施することは難しい。開幕日の1週間ほど前に実施予定の「テストラン」の際に、一定数の下見を受け入れるべく検討中。
- 協会内での再検討の結果、会場下見をした後に来場辞退となった場合、それに要した入場チケット代については、徴収しないこととした。